

「脱炭素・経済成長・物価安定、同時は困難」

今年の経済動向探る

東信俱樂部が新春講演会

東濃信用金庫の取引先でつくる東信経済俱樂部の新春講演会が25日、多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開かれ、クレディ・アグリコル証券マネーシングディレクターの森田京平さんが「2022年の経済展望」と題して講演した。

(箕浦由美子)

会場とリモートを合わせて約80人が聴講。森田さんは「『脱炭素』『経済成長』『物価の安定』は同時に成り立つか？」を副題に掲げ、「三つ一緒に成り立たせるのは難しい。今のところは物価の安定が失われる状況だ」と展望した。

脱炭素は市場が主導しているため、意識する必要がある。



「脱炭素と経済成長、物価の安定を同時に成り立たせるのは難しい」と展望を話す森田京平さん＝多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

あると強調。国内経済政策は通貨発行量を増やした金

融政策の効果が薄く、岸田政権は財政政策にかじを切ろうとしているが、負担増の源泉である社会保障保険料を変えないため、すぐに効果が出ることはないとした。労働分配率が主要国と同水準であることなどから「問題は分配ではなく成長にある。企業の売上高が伸びるよう岸田政権の施策に期待したい」と結んだ。